

2019年10月4日 第292号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動実行委員会 臨時国会開会日行動に 450 人

消費税増税許さない！ 改憲発議は絶対させない！

安倍政権は退陣！ 9 条改憲は必ず阻止！



総がかり行動実行委員会・安倍9条改憲NO！
全国市民アクションは10月4日昼、国会議員会館前で、「消費税増税絶対反対！大軍拡予算反対！韓国敵視を煽るな！改憲発議許すな！辺野古新基地建設は断念を！10・4臨時国会開会日行動」を行い、450人が参加しました。臨時国会から来年の通常国会にかけて安倍改憲阻止のたたかいの正念場。市民と立憲野党が共闘し、改憲発議を許さないたたかいを草の根から広げていくことを決意しました。

戦争をさせない1000人委員会・藤本泰成さんが主催者あいさつ。関西電力の原発マネー問題について批判。「幼保無償化問題だが、待機児童は対象とならず、これは差別されることになる。憲法違反ではないか。幼保無償化から朝鮮幼稚園

園がはずされた。こういうことでは真摯な対話はできない。安倍政権を倒すため奮闘しよう」と呼びかけました。

各団体から3人が発言。「日韓関係ではメディアが煽っている。日韓の労働組合が共同で声明を出した」(MIC・岩崎貞明事務局長)、「縛られる側が改憲を言うのは立憲主義に違反する」(改憲問題対策法律家6団体・大江京子弁護士)、「消費税が10%に増税され廃業する業者が相次いでいる。赤字の中小企業が消費税を支払い、大企業には還付金。こんな理不尽を続けさせていいのか。消費税廃案をめざそう」(憲法共同センター・中山真全商連常任理事)と発言しました。

憲法共同センター・長尾ゆりさん(全労連副議長)が行動提起。「私たちのたたかいで、改憲より暮らしを守れと改憲発議を許さなかった。新署名について論議しているが、安倍政権は改憲を進めようとしており、手を緩めるわけにはいかない。3000万人署名を街頭で、全戸訪問で訴えていこう。憲法を生かす政治に変えるための世論をつくっていこう。安倍改憲を断念させよう」と呼びかけ、10月の19日、11月3日の憲法集会 in 国会正門前への参加を訴えました。

日本共産党・小池晃参院議員、立憲民主党・水岡俊一参院議員、社民党・吉田忠智参院議員、沖縄の風・伊波洋一参院議員があいさつ。日本共産党、立憲民主党から多数の議員が駆けつけました。

●兵庫

今秋の臨時国会で安倍9条改憲を断念させよう そのため、特別に行動の量と質の強化を！

兵庫県憲法共同センターがアピール

兵庫県憲法共同センターは9月27日、以下のアピールを出しました。

県下各地で“アベ壊憲”を止めるため全力あげて奮闘されていることに敬意を表します。

参議院選挙で3分の2に届かなかった意趣返しのように、改憲強行の仕掛けを9月24日自民党は総務会で決めました。壊憲タカ派を前面から隠し、一部野党とつながりのあるとされる人脈を先

頭に立て野党分断を図ろうとしています。

つまり党改憲本部長に細田元官房長官、同事務総長に岸田派の根本前厚労相、事務局長に石破派の山下前法相、衆院憲法審査会会長には麻生派の佐藤元国対委員長、参院憲法審査会会長に林元文科相などなど、まさに全党一丸体制としました。

安倍政権登場以降、「新しい日本へ」と集団的自衛権容認、共謀罪、戦争法と次々強行、トランプ大統領との緊密関係へ移行後は、さらに米製武器の爆買いに走り、あとは「憲法9条」さえ無意味にすれば「戦争への道」が文字通り実現します。

また地球温暖化や核兵器廃絶この安倍執念に対し国民は、「安倍改憲には反対」とどの世論調査でもその意思を表明していまへの対応、日米貿易交渉や消費増税に台風15号被害、さらには芸術祭への補助金不交付など、あらゆる分野で噴出している安倍政権の姿勢、国民のいのちと生活・人権無視、憲法無視の姿勢には目にあまるものがあります。

この状況を踏まえ、兵庫憲法共同センターはこの10月のたたかい強化はなんとしても必要と考えます。

よって4項の“たたかいの軸”を7月末に確認しましたが、特に街頭などで大きな宣伝行動を組織下さるよううたえます。

- ① 3の日、9の日、19日行動、さらに原水爆禁止の6・9行動、神戸では10月8日昼パレードなど、例月の参加状況を大きく増やして宣伝・対話・署名を上げましょう。
- ② またこれら行動準備で行政区ごとに、市民と野党共同13項目政策実現に向けた共同・合意づくりをひろげていきましょう。

●埼玉

市民と野党の共闘で安倍改憲を断念に 憲法運動学習交流集会



埼玉憲法会議は9月24日、教育会館で憲法運動学習交流会を開催し、95人が参加。直前に控えた臨時国会など、これからの憲法運動について学習と交流を深めました。

はじめに、先の参院選で当選したばかりの伊藤岳参院議員（共産党）が国会情勢報告。

総がかり行動実行委員会共同代表の小田川義和が講演。内閣改造と党役員人事で「異常な改憲シフト」を敷いた安倍首相が「党一丸となって憲法改正を進めていきたい」（自民党役員会での発言）としていると語り、憲法は、「市民と野党対安倍改憲勢力（日本会議）とのせめぎ合いになっていて、いよいよ決着をつけるときにきている」と、緊迫した憲法情勢であることを報告。

そして、市民連合と立憲野党が合意した「13項目の共通政策」をさらに発展させながら、衆院選1人区でも統一候補を立ててたたかえば勝利できる」と勝利の展望を語り、いよいよ「連立政権」の議論が始まってきていて、立憲民主党や国民民主党からもその必要性が語られ始めていると述べ、3000万人署名で草の根での対話が大切であることを強調しました。

●当面の行動

◆総がかり行動「19日行動」 10月19日(土)15時～国会議員会館前

◆憲法共同センター「自民党改憲4項目徹底批判学習会」

10月7日(月)18時30分～20時15分 全労連会館2階ホール

講師 大江京子弁護士(改憲問題対策法律家6団体事務局長)

http://www.kyodo-center.jp/wp-content/uploads/2019/09/191007gakusyukai_chirashi.pdf

◆日米地位協定の抜本改定学習交流集会

主催・安保破棄中央実行委員会 全国革新懇、憲法共同センターが共催

10月22日(火・祝)13時～16時30分 全労連会館2階ホール

講演 布施祐仁さん ジャーナリスト「平和新聞」編集長

http://www.kyodo-center.jp/wp-content/uploads/2019/09/191022syuukai_chirashi.pdf

◆11・3憲法集会 in 国会正門前 11月3日(日)14時～15時30分 国会正門前

主催・総がかり行動実行委員会/安倍9条改憲NO!全国市民アクション/3・1朝鮮独立運動100周年キャンペーン *憲法共同センターは南庭前。

http://www.kyodo-center.jp/wp-content/uploads/2019/10/20191103_kenpousyukai.pdf